

# 2024年3月期第2四半期決算説明会資料

株式会社サンマルクホールディングス

2023年11月21日



SAINTMARC HOLDINGS CO.,LTD.

証券コード  
3 3 9 5



## ➤ 売上高・・14.9%増収

- ・店舗あたり売上はコロナ前約98%水準

## ➤ 営業利益9.4億円、経常利益10.6億円

- ・売上が回復基調にある中、原材料・エネルギー価格の高騰の影響は継続し、原価率は対前年同期比で1.2ポイント悪化するも、コストコントロールに努めるとともに、不採算店舗の閉店による収益性の回復等により、4期ぶりの営業黒字を確保。

## ➤ 特別損失3.5億円計上、当期純利益は5.1億円

- ・特別損失の内容は主に、不採算店舗、ならびに閉店の意思決定を行った店舗の減損処理(16店舗、2.6億円)



# 2024年3月期第2四半期 決算概要

- ✓ コロナ禍の影響が緩和し、人流が想定以上に回復したことにより計画以上の売上高を達成
- ✓ 原材料・エネルギー価格の高騰により原価率是对前年同期比で1.2ポイントUPしたものの、コストコントロールに努めるとともに、売上回復により固定費的性格を有する販管費の対売上比率が減少し、営業利益率上昇

(単位：百万円)

	2023年 3月期2Q	売上比 (%)	2024年 3月期2Q	売上比 (%)	増減	増減 (%)	期初予想 (5/12発表)	計画差
売上高	27,418	100.0	31,497	100.0	4,079	14.9	29,000	2,497
売上原価	6,277	22.9	7,584	24.1	1,307	20.8	-	-
販売費及び 一般管理費	21,636	78.9	22,964	72.9	1,328	6.1	-	-
営業利益	△495	△1.8	948	3.0	1,443	-	520	428
経常利益	715	2.6	1,068	3.4	353	49.4	520	548
親会社株主に帰属する 四半期純利益	392	1.4	518	1.6	126	32.0	170	348



(単位：百万円)

事業別種類別

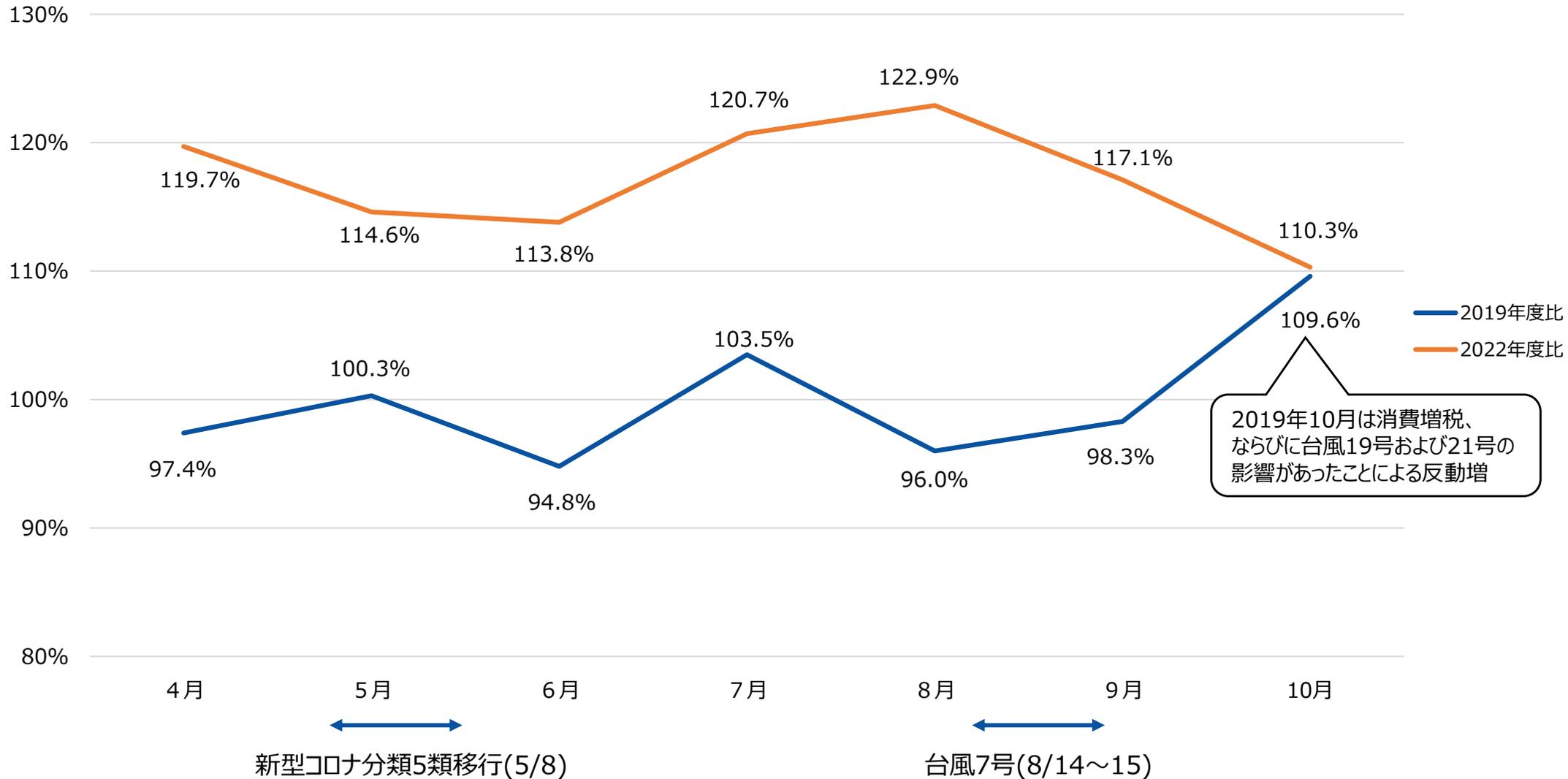
	<u>事業別</u>			<u>種類別</u>				
	2023年 3月期2Q	売上比 (%)	2024年 3月期2Q	売上比 (%)	増減	直営店 売上	ロイヤリティ 収入	FC関連等 売上
売上高	27,418	100.0	31,497	100.0	+4,079	30,866	60	551
レストラン	15,714	57.3	18,316	58.2	+2,602	17,939	39	337
喫茶	11,703	42.7	13,181	41.8	+1,478	12,947	20	213
セグメント損益	280	-	1,736	-	+1,456			
レストラン	382	-	1,054	-	+672			
喫茶	△101	-	682	-	+783			



# 既存店売上高推移

SAINTMARC HOLDINGS CO.,LTD.

コロナ前(2019年度比)との比較においては、休日数を考慮すると概ね100%の水準で推移

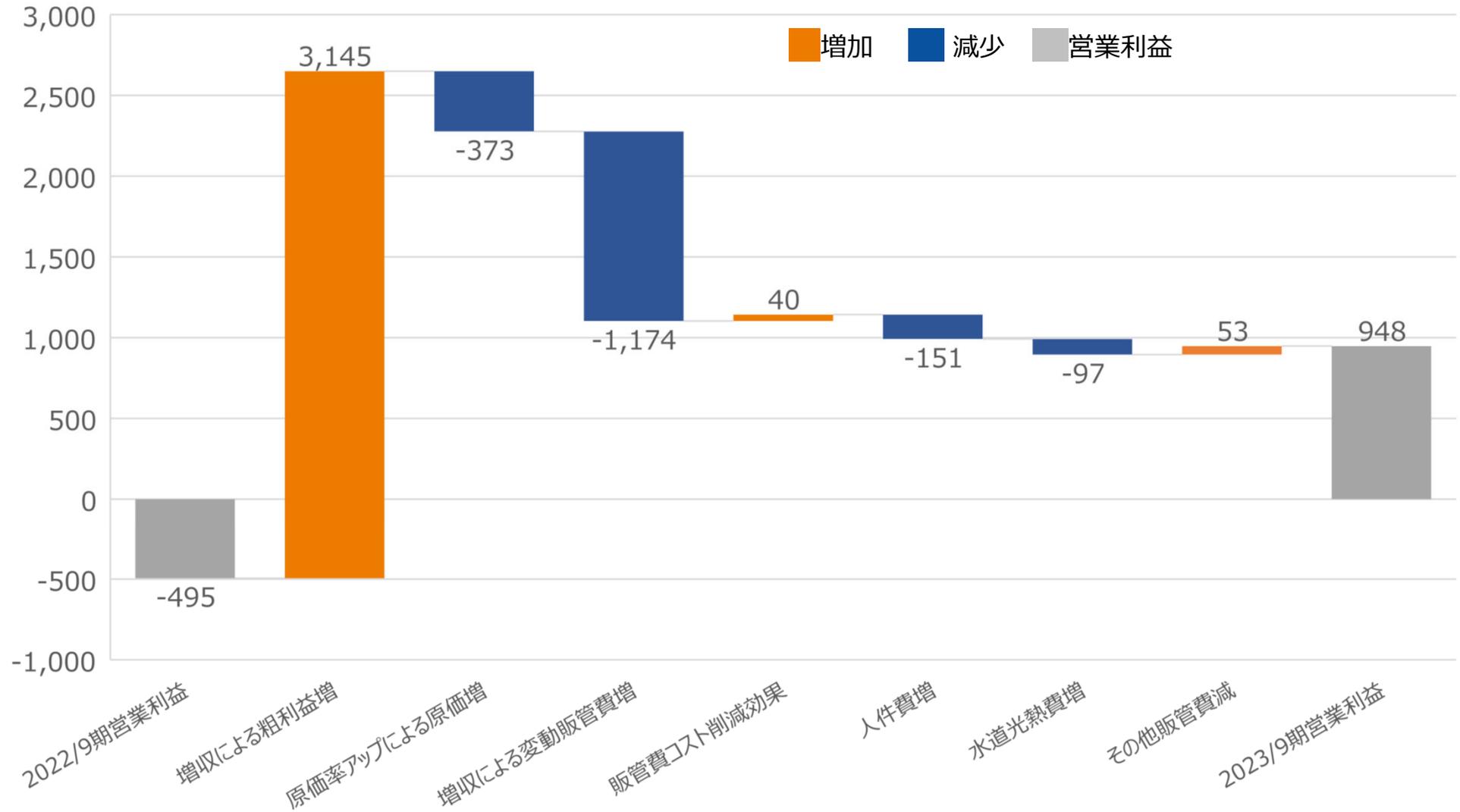




# 営業利益の増減要因

SAINTMARC HOLDINGS CO.,LTD.

## 営業利益の増減要因





# バランス・シートの状況

SAINTMARC HOLDINGS CO.,LTD.

- 現預金152億円、自己資本比率62.9%

資産の部				負債・純資産の部			
	2023年9月末	前期末増減	主要因		2023年9月末	前期末増減	主要因
<b>流動資産</b>	<b>20,454</b>	△383		<b>流動負債</b>	<b>6,676</b>	△239	
現預金	15,265	△468		買掛金	2,063	△91	
売掛金	4,584	186		未払金	3,117	△38	
<b>固定資産</b>	<b>27,384</b>	△581		<b>固定負債</b>	<b>11,064</b>	△473	
有形固定資産	15,919	△7		社債	6,030	△5	
無形固定資産	100	△16		資産除去債務	4,609	△132	
投資その他の資産	11,364	△557	店舗閉店に伴う敷金・保証金減	<b>負債合計</b>	<b>17,740</b>	△713	
				純資産	30,098	△252	自己株式取得
<b>資産合計</b>	<b>47,839</b>	△965		<b>負債純資産合計</b>	<b>47,839</b>	△965	

(単位：百万円)



# キャッシュ・フローの状況

SAINTMARC HOLDINGS CO.,LTD.

- 営業キャッシュ・フローはプラスとなり、フリーキャッシュ・フローもプラス
- 財務活動によるキャッシュ・フローについては、配当金並びに自己株式取得が主

(単位：百万円)	2023年3月期2Q	2024年3月期2Q	増減	主な要因
現金及び現金同等物の期首残高	15,640	15,734	+ 94	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,561	1,840	+ 279	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△955	△1,476	△521	・有形固定資産の取得による支出
フリーキャッシュ・フロー (営業活動+投資活動キャッシュ・フロー)	605	364	△241	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△474	△833	△359	・配当金支払 ・自己株式取得
現金及び現金同等物の期末残高	15,771	15,265	△505	



# 出退店の状況：出店20～25、退店70～90

- 2024年3月期の新規出店は20～25店舗、退店は70～90店舗を想定
- 引き続き不採算店舗の業態変更や退店を進める

業態	2023年3月期 期末店舗数	出店数	退店数	2023年9月期 期末店舗数
サンマルク	47	0	2	45
サンマルクカフェ	333	0	24	309
函館市場	9	0	0	9
バケット	77	1	2	76
鎌倉パスタ	195	6	1	200
サンマルクグリル	65	4	1	68
倉式珈琲	62	1	3	60
実験業態	5	2	0	7
グループ合計	793	14	33	774

※実験業態には、「奥出雲玄米食堂井上」、「天ぷら天清」、「THE SEASON」、「韓と米」を含む。

※直営750店舗、FC24店舗



# 設備投資・減価償却費：実績と計画

SAINTMARC HOLDINGS CO.,LTD.

2024年3月期上半期通期(実績)

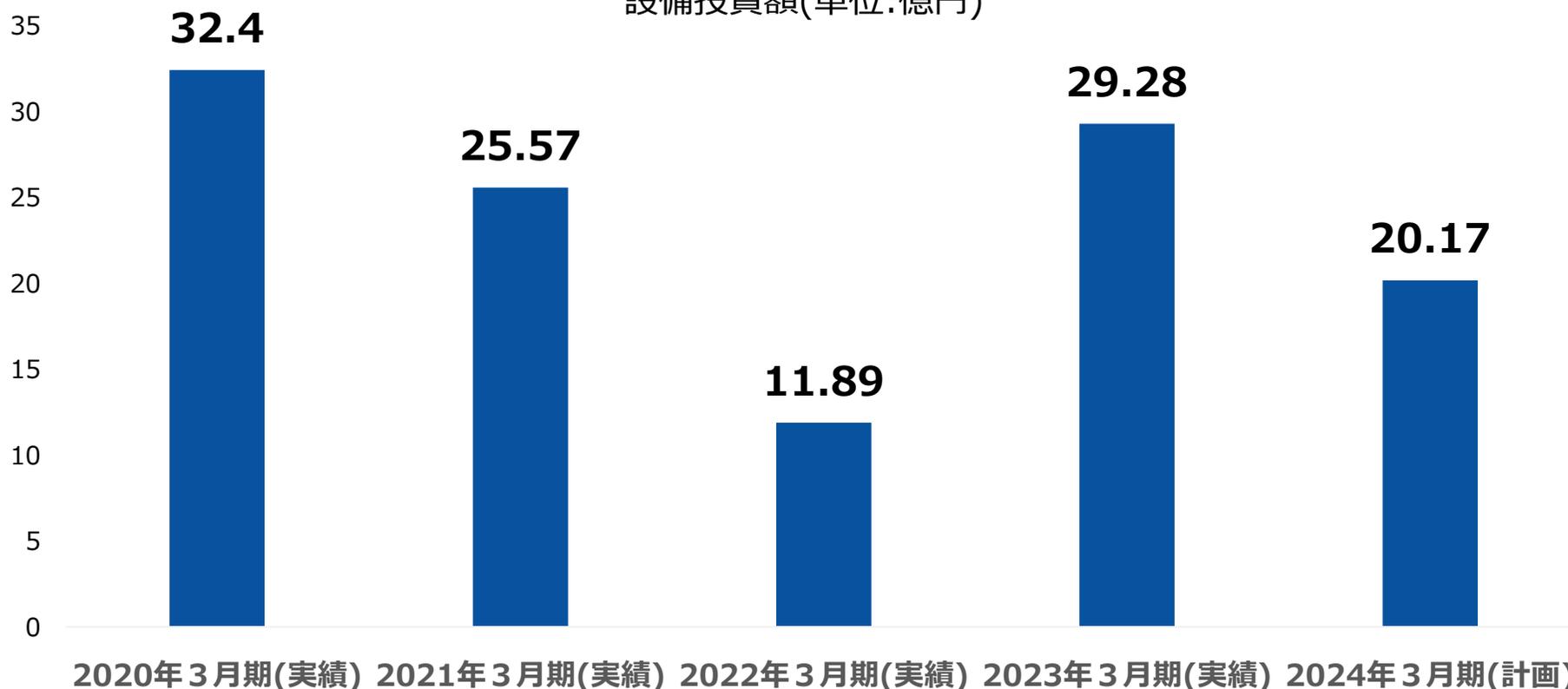
設備投資：1,377百万円 減価償却費：1,085百万円

出店14店舗、既存店改装6店舗、その他厨房機器更新等

2024年3月期通期(計画)

設備投資：2,017百万円 減価償却費：2,209百万円 出店想定：20～25店舗

設備投資額(単位:億円)



# 2024年3月期見通し

---



# 2024年3月期 通期見通し：期初見通しを修正

- 既存店売上、原価率は上期の水準が継続する前提での計画
- 原価率は前期より0.8%程度悪化する想定

単位：百万円	2023年3月期 (実績)	上半期 (実績)	下半期 (実績)	2024年3月期 (計画)	上半期 (実績)	下半期 (計画)	2024年3月期 (期初計画) 5/12発表
売上高	57,831	27,418	30,413	63,000 +8.9%	31,497	31,503 +3.6%	59,000
営業利益	239	△495	734	2,000 +734.6%	948	1,052 +43.3%	1,500
経常利益	1,596	715	881	2,100 +31.5%	1,068	1,032 +17.1%	1,500
親会社株主 帰属 当期純利益	416	392	24	700 +68.1%	518	182 +658.3%	500

# 2024年3月期 上期トピック

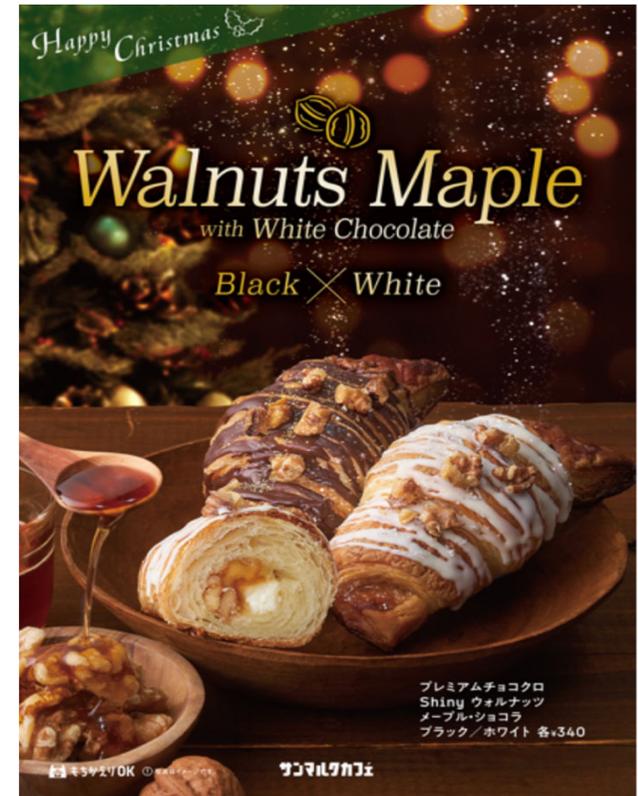
---



# 「サンマルクカフェ」高価格帯チョコクロの売上好調



前期から注力している高価格帯チョコクロ(プレミアムチョコクロ) が引き続き好調





# 「サンマルクカフェ」パン台拡張実験



ベーカリーカフェへの原点回帰の取り組みの一環として、パン台の拡張実験を実施。ヒット商品の開発による売上の最大化を狙う。



## 限定新メニュー販売



チョコクロネ



スモークサーモンのクロサンド



やみつきチーズドッグ



# 「サンマルクカフェ」喫煙ブース設置



2020年4月の改正健康増進法施行後、全面禁煙の方向に転じたものの、喫煙需要が見込まれる店舗について喫煙ブースを設置。売上増の効果が見られていることから、非喫煙のお客様にも配慮しながら、引き続き設置の検討を進める。



イオンモール岡山店



代々木上原店



# 「サンマルクカフェ」セルフレジ導入実験



店舗オペレーションの軽減を図ることを主目的としてセルフレジ導入の実験を実施中。オペレーションの軽減だけでなく、レジ間違いによるクレーム軽減の効果も見られ、効果が期待できる店舗について、導入の拡大を検討中。

## スフィアタワー天王洲店の導入事例



導入前



導入後



# 「鎌倉パスタ」派生業態”おだしもん”出店



「おだしもん」は、おいしくて身体にもやさしい「お出汁」ベースのパスタと和スイーツの新しいカフェレストランです。



北千住マルイ店(2023/7/7オープン)

HEP FIVE店(2023/9/13オープン)



# 「サンマルクホールディングス」実験業態”韓と米”出店

「韓と米」は、お米のおいしい韓国料理を提供します。お米は釜炊きごはんの一つ一つ丁寧に炊き上げています。



ヨドバシ仙台店(2023/7/14オープン)

アミュプラザ鹿児島店(2023/8/28オープン)



SAINTMARC HOLDINGS CO.,LTD.

# 「サンマルクグリル」上期4店舗出店

神戸  
元町ドリア  
KOBE MOTOMACHI DORIA

サンマルクグリルは鎌倉パスタとならび当社グループの出店を牽引し、上期4店舗を出店。



(左) チーズ&ドリア.スイーツ 東京ドームシティラクア店(2023/5/30オープン)

(中) 台湾小籠包 アスティ静岡店(2023/7/12オープン)

(右) 横浜元町ドリア ヨドバシ仙台店(2023/7/14オープン)



# 上期に実施した主なプレスリリース

## ➤ 自己株式取得について

資本効率の向上を図るとともに、経営環境の変化などに対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため実施。

### 【概要】

取得株式数：200,000株

取得価額総額：381,140,800円

取得期間：2023年5月15日～2023年6月16日

取得方法：東京証券取引所における市場買付

自己株式取得は最適な現預金水準にコントロールしていくにあたり、株主還元にもつながる有効な一つ的手段と考えており、保有現預金水準や株式の流動性等を考慮に入れながら、今後も自己株式取得について検討していきます。



# 上期に実施した主なプレスリリース

## ▶ 譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分について(従業員向け)

当社および当社子会社の従業員が、当社グループの企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを付与するとともに、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的として実施。また、福利厚生の一環として、本制度の導入が従業員の定着率向上(離職率低下)につながることを期待。

### 【自己株式の処分の概要】

処分予定先・人数	当社および当社子会社の従業員	490名
処分株式数	: 52,065株	
処分価額	: 1株につき1,907円	
処分価額総額	: 99,287,955円	
処分期日	: 2023年12月1日	
譲渡制限期間	: 2023年12月1日～2026年11月30日	



## ➤サステナビリティに関する開示について

2023年6月26日に提出した有価証券報告書において、気候変動ならびに人的資本に関する開示を実施。2021年度におけるScope 1～3のCO2排出量は以下のとおり。

Scope 1・2	: 36,207 t
Scope 3	: 109,756 t
合計	: 145,963 t

Scope 1・2の売上100万円あたりCO2排出量：0.76t-CO2/100万円  
⇒2030年度目標：0.55t-CO2/100万円(削減率：27.6%)と設定。

また、人材の多様性の確保を含む人材の育成に関する方針及び社内整備に関する方針について、当社が用いている指標と目標(2025年度)は以下のとおり。

管理職に占める女性労働者の割合：30%  
エンゲージメントサーベイの調査結果：55



# 免責事項 + 問い合わせ先

本資料は当社グループに関する情報提供を目的としており、当社の発行する有価証券への投資の勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載されている計画や予測等の将来情報については、現時点における当社の判断であり、外部環境の変化等により実際の結果と大きく異なる場合がございます。

＜IRに関するお問い合わせ先＞  
株式会社サンマルクホールディングス  
管理本部 IR担当

e-mail : [ir@saintmarc-gr.com](mailto:ir@saintmarc-gr.com)

電話 : 086-246-0309